

障がい者自立支援法について

小松市、能美市、川北町に私たちの思いを伝えてきました！

2007年12月に、平成18年4月に施行された障害者自立支援法についてなごみの郷を利用しているメンバーとその家族にアンケートを聞き取りました。その結果をまとめたものを、家族会、ボランティア会の皆さんとの協力を得て、2007年1月に小松市長、能美市長、川北町長へお渡ししてきました。

今後この地域の福祉施策がより充実し、わたしたちにとって安心してこの地域で生活できる
ような法律にして欲しいと感じました。

アンケートは、サービス利用料1割の負担に対し、医療費などでも既に、生活費に影響があるという事実により、市と町に減額や免除をお願いしたいという声が多いというものでした。

(アンケートに関してのお問い合わせは、なごみの郷までご連絡ください。)

なごみの郷“苦情解決”第三者委員がやってくる！

皆さま、新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎えて「なんだかんだと色々あるけど、生きていてよかったですなあ～」と思うことができる日が一日でも多くあるといいなあと思っています。

1月5日の北陸中日新聞に、『べてるの家』が紹介されました。べてるの家では、作業中にメンバーが作った「きよしのズンドコ節」の替え歌を歌っているそうです。

♪らくじゅありませんか精神病 幻聴幻覚妄想で いてもたっても生きられず自分の体に傷つける～♪ ♪いいじゅありませんか精神病 神からもらった宝物 普通の人とは違っても、みんな立派な癌気持右～♪

自分が抱えている病気に対して “真剣だけど、深刻でない” ことが力の源をいう言葉に、
妙にうなづきました。皆さま、本年もよろしくお願ひいたします。 苦情解決第三者委員：竹内とし子、北畠和代

理事長のひとりごと



病気なのに心が健康になってきた！

 年末・年始に「安心して絶望できる人生」(向谷地育良著.NHK出版)を読みました。向谷地さんが発想された「当事者研究」によって、「べてるの家では“病気なのに心が健康になってきた！”という実感を当事者が持つことが可能になってきた事」を知って、私は「精神分野のソーシャルワーカー本来の役割」を始めて教えられたという感動で、心が熱くなりました。向谷地さんは、べてるの家でソーシャルワーカーとして様々な苦難を乗り越え、三十数年に亘り独自の研究活動を展開し注目を集めてきました。その成果が“病気なのに心が健康になってきた！”という感動を生みだしたのだと思います。当事者研究は始まったばかりであり、より広い視点から精神医学・薬学との連携において、今後大いに進化・発展していくことが期待される研究であると私は考えています。

木村 正行

囲碁界スーパー列伝 パート3

二十五世本因坊 趙治勲

あの実力制本因坊の趙治勲さんについて書きます。もう何年も前の話ですが趙さんは三大ビッグタイトル名人 棋聖 本因坊を独占し前人未到の大三冠を達成しこれ以上のない頂点を極めたのです。そこまではよかったです、当時ある対局の解説をしていました盟友である故加藤九段が「最近趙さんの棋風が変わってきた。」と言っていました。趙治勲棋譜録で「もう滅茶苦茶攻められないと碁を打った気がしない」というのがありました。故加藤九段によると「最近攻めの要素が少くなってきた。」と解説していました。

頂点を極めても更なる向上心とでもいうのも聞こえがいいでしょうが、私に言わせれば単なる「欲張り」だと思います。似たような話、ゴルフ界でも中島常幸という大選手がいましたよね。ジャンボ尾崎と毎年賞金王争いをし、ある年二年連続で賞金王になって「もっと上のレベルを目指す」と宣言してフォームを改造し、それ以来バッタリと勝てなくなってしまった。例にもれず、趙さんも棋風をかえてからパタパタと三つとも全部取られてしまいました。やっぱりもう上がなくなるとそういう悲劇が待っているのは人間の性なんでしょうか。しかしやっぱり趙活歎、既に世代交代の嵐が吹きすさぶ囲碁界においてベテラン勢では只一人十段位を奪取し今をときめく山下敬吾棋聖の挑戦をも退けたのです。敗れた山下棋聖の弁からも趙さんの凄さが伝わってきます。「趙先生の凄さを引き出せない前に終わってしまってすみませんでした。」との事。でも趙さんの人気の秘密は強さだけではなくあの明るい人柄から来る所のジョークの達人ぶりでしょう。依田紀碁九段との名人戦のレセプションで、依田さんが「名人になって盤上で死ねねば本望です。」とタンカを切ると「私は名人位を十連霸するつもりでいますし依田さんにも長生きしてほしいから私が勝ちます。」とやんわりかわりて場内大爆笑。

きりがないのでもう一つ紹介しますと趙さんは六歳の時来日し十一歳の時にプロになった。本人の弁をかりれば「予定より一年遅れた。」そうですが、あれだけめつくタイトルを取って大三冠にもなったのに北国新聞の碁聖戦で「私は大器晚成型で。」もういい加減してくれよ、もう。結局、薬局、放送局で結論は宝町にある囲碁サロン本因坊の名物講師 谷三郎り段いわく「やっぱり治勧ちゃんは強い！」

～パート4はプロ棋士の中で最も私が敬愛する小林光一名誉名人です～

E N D

作 ST

ペンネーム（S.M.より）

私は何年間ぶりに小松市に帰ってきました。ときどき同年の友だちとれんらくのとりあいなどまた、どうそかいなどに行きます。このなまこは、てんぽな、ログハウスのたちもんだとおもいます。ログハウスだけに、ワックスがけやテラスぬりなど、手入れがたいへんなんですが、とても、すごしやすいです。一度きがるにウッディキッチンにコーヒークリーズ？

僕らの果実

人は一生の間に
一つの実をつける。

まわりの果実はりっぱに成長し、
そして、熟しきつたその実は
もぎ取られていく。

でも僕らの果実は
虫くいであつたり、奇形であつたりして
見てみれが悪い為

いつまでたつてもどうられない、
僕らの果実は不良果実であつた。

いつかは家畜の飼さとか、
ジュースとしてもぎ取られるだろう
でも、それでもいいじやないか、
実をむすばない花だつてあるんだよ。